

保護者様

名古屋市立旭丘小学校長
高岸宏幸

暴風警報・大雨等警報・特別警報発令時 避難勧告・避難指示(緊急)・地震発生に備えて

「名古屋市(尾張東部・愛知県西部・愛知県全域)」に警報が発表された場合につきまして、お子さまの安全を最優先し、下記のように対応しますので、ご協力をお願いします。

1 暴風・暴風雪の場合

	登校前(在宅の時)	登校後(在校中)
注意報	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平常通り登校させてください。 ※ 但し、地域の状況により、保護者が危険を伴う恐れがあると判断させる場合は、登校を見合わせ、学校に連絡ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平常通り授業を続けます。 ※ 但し、今後の気象情報によっては、通学路の安全を確認した上で、下校させることがあります。 ※ 授業を中止する場合は、「なごやっ子あんしんメール」により、連絡します。
警報	<ul style="list-style-type: none"> ○ 午前6時までに <ul style="list-style-type: none"> ① 解除されたとき… 平常の授業を行います。 ② 解除されないとき… 午前中の授業を中止します。 ○ 午前11時までに <ul style="list-style-type: none"> ① 解除されたとき… 午後の授業を行います。 ※ 登校時刻等は「なごやっ子あんしんメール」により、連絡します。 ② 解除されないとき… 当日の授業を中止します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通学路の安全を確保した上で、速やかに下校させます。 ※ 但し、気象状況によっては、緊急下校をせず、学校で待機させることがあります。

※ 登校中に暴風(暴風雪)警報が発令された場合は、分団出発前なら帰宅し、「在宅の時」と同様に対処します。分団出発後は、一度学校へ来て、「在校の時」と同様に対処します。

※ 学校が授業を中止した場合は、トワイライトスクールの活動も休止となります。

2 大雨・洪水・大雪の場合

	登校前(在宅の時)	登校後(在校中)
注意報	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平常通り登校させてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平常通り授業を続けます。 ※ 但し、今後の気象情報によっては、通学路の安全を確認した上で、下校させることがあります。 ※ 授業を中止する場合は、「なごやっ子あんしんメール」により、連絡します。
警報	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校から連絡がない限り、平常通り授業を行います。 ※ 但し、地域の状況により、保護者が危険を伴う恐れがあると判断させる場合は、登校を見合わせ、学校に連絡ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平常通り授業を続けます。 ※ 但し、今後の気象情報によっては、通学路の安全を確認した上で、下校させることがあります。 ※ 授業を中止する場合は、「なごやっ子あんしんメール」により、連絡します。

(裏面あり)

3 避難勧告・避難指示(緊急)及び特別警報発令の場合

桜丘中学校ブロック(旭丘学区・明倫学区)のいずれかに避難勧告・避難指示・特別警報が発令された場合は、次の対応をとります。

登校前(在宅の時)	登校後(在校中)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 午前6時までに <ul style="list-style-type: none"> ① 解除されたとき… 平常の授業を行います。 ② 解除されないとき… 午前中の授業を中止します。 ○ 午前11時までに <ul style="list-style-type: none"> ① 解除されたとき… 午後の授業を行います。 ※ 登校時刻等は「なごやっ子あんしんメール」により、連絡します。 ② 解除されないとき… 当日の授業を中止します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育活動を打ち切り、「なごやっ子あんしんメール」にて、児童の引き渡しを行う旨、連絡します。 ○ 「児童引き渡し調査票」に基づいて、児童を保護者または保護者に準じる方に引き渡します。 ○ 上記が行われなかった児童は、引き渡しまでの間、学校で待機させます。

4 地震発生の場合

「名古屋市」に震度5強以上の地震が発生した場合、旭丘小学校に避難所が開設させるとともに、次の対応をとります。

登校前(在宅の時)	登校後(在校中)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 登校を中止させてください。 ※ 学校から連絡があるまで、臨時休業です。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育活動を打ち切り、「なごやっ子あんしんメール」にて、児童の引き渡しを行う旨、連絡します。 ○ 「児童引き渡し調査票」に基づいて、児童を保護者または保護者に準じる方に引き渡します。 ○ 上記が行われなかった児童は、引き渡しまでの間、学校で待機させます。

5 南海トラフ地震に関する情報が発表された場合

南海トラフ地震に関する情報(臨時)が発表された場合は、在校中・登下校中・在宅中に関わらず、本校の具体的な対応について「なごやっ子あんしんメール」で配信します。

6 教育委員会が前日に休校を決定した場合

平日・土日祝を問わず、午前12時までに教育委員会より「なごやっ子あんしんメール」と「教育委員会ホームページ」で休校をお知らせします。

※ 臨時休業となった場合、トワイライトスクールの活動も休止となります。

令和7年4月

保護者 様

名古屋市立旭丘小学校長
高岸 宏 幸

北朝鮮によるミサイル発射に係る対応について

日頃は本校の教育にご理解ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、北朝鮮によるミサイル発射に係わって、Jアラートを通じて緊急情報が出された場合、下記のように対応しますので、ご協力をお願いします。なお、裏面に「弾道ミサイル落下時の行動について」（内閣官房）の資料を添付しましたので、参考にしてください。

記

1 Jアラートを通じて緊急情報が出された場合の対応

1 愛知県に、「①ミサイル発射情報・避難の呼びかけ」が出された場合（別紙参照）	
登校前	自宅で安全確保 続報によって安全が確認できたら、登校
登校中	近くの建物等で安全確保 続報によって安全が確認できたら、そのまま登校
在校中	学校で安全確保
下校中	近くの建物等で安全確保 続報によって安全が確認できたら、そのまま下校

2 「①ミサイル発射情報・避難の呼びかけ」に引き続き、「⑤直ちに避難することの呼びかけ」「⑥破壊情報」「⑦落下推定情報（日本の領土・領海に落下）」（別紙参照）が出された場合

引き続き屋内に避難する必要があるため、自宅待機中の場合は、登校を見合わせ、安全が確認されるまで、休業とします。

学校に児童等がいる場合は、安全が確認されるまで、学校で待機させます。

登下校中の場合は、安全確保に努めるようお話してください。

いずれの場合も、Jアラートによる続報に注意することが大切です。

3 「①ミサイル発射情報・避難の呼びかけ」に引き続き、「②通過情報・避難の呼びかけの解除」「③落下推定情報（日本の領海外の海域に落下）」「④避難の呼びかけの解除」「⑧避難呼びかけの解除」（別紙参照）が出された場合

屋内に避難する必要がなくなるため、自宅待機中の場合は、学区内の安全を確認し、「なごやっ子」あんしんメール等で、登校する時刻等についてお知らせします。

学校に児童等がいる場合は、通常授業となります。



弾道ミサイル落下時の 行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

- ① 速やかな避難行動
- ② 正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト

武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。

http://www.kokuminhogo.go.jp/gaiyou/shiryu/hogo_manual.html

ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます



首相官邸

ホームページ

www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント

首相官邸災害・危機管理情報

@Kantei_Saigai



Jアラート（例） 直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが、●時●分頃、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

近くの建物の中か
地下に避難。

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。

近くに
ミサイル
落下!

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。